

心の軌跡

東大阪市立縄手中学校
＜道德通信＞第5号
2021年02月19日（金）

～小学校教材を使って道德科の授業を行いました～

泣いた赤鬼（2年）

とある山に、人間と友達になりたいと願っている赤鬼が暮らしていました。「心優しい鬼の家です。どなたでも遊びに来てください。お茶もお菓子もあります。」と書いた立て札を家の前に掲げていましたが、人間たちは赤鬼を怖がり、誰ひとりとして立ち寄ってはくれません。

そこに友達の青鬼がやってきて、ある提案をします。それは「青鬼が人間の村へ行って大暴れし、そこに赤鬼がやってきて青鬼をこらしめる。そうすれば人間たちは赤鬼が優しい鬼で、自分たちに害を加えないことを理解してくれるはずだ」というものでした。

作戦は無事に成功し、赤鬼は人間たちと楽しい日々を過ごすことができました。

しかし、あの日以来 1度も青鬼の姿を見ていません。気になった赤鬼が青鬼の家を訪ねてみますが、家の扉は締め切られ、誰かがいるような気配もないのです。扉の脇の張り紙には、「赤鬼くん、このまま僕と友達していると、君も悪い鬼だと思われる。僕は旅に出る。君のことは忘れない、いつまでも友達です」と書いてありました。

赤鬼は何度もその手紙を読み、涙を流したそうです。

・・・赤鬼の青鬼に対する思いや願い、
赤鬼が欲しかった本当の友達とはどんな友達
なのか。みんなにとって本当の友達って？

友情について考える内容でした。



「今日の授業を受けて感じたことを書きましょう」

- ♡自分から行動できない優しくできない赤鬼の性格を知っていてやったことだとしても親友と離れることになって青鬼も赤鬼もつらいだけだし、人間の気持ちや先のことまで考えたらもっと別の方法があったんじゃないかなと思った。
- ♡友情はだれが犠牲になってはいけないものなのと思った。もしつらいことがあっても二人で乗り越えるのが友情だと思う。
- ♡友達が大切な存在というのを気付くのって一緒にいれば気付かないかもしれないけど離れると気づくんだろうなと思いました。相手のことを見ただけで判断するんじゃなくて相手の良いところも探してみたらいいのかなと思いました。そういうふうにする事で仲良くなって友情っていうものになっていくんじゃないかなと思いました。

オレンジ色の木のみ（1年）

森の南のしゃめんに生えている木には秋になるとオレンジ色の、それはそれはあまい、おいしい実がなるのでした。この森のしかたちは秋に木のみがなるのを楽しみにしています。次の年の春に赤ちゃんをうむおかあさんじかや、おとしよりのしかは寒い冬を迎える前にこの木のみを食べると元気に冬を越せるので、お父さんやお母さんから「この木がやわらかいはを出しても食べてはいけないよ。秋に実がなるまでがまんしなさい。」と強く言われていました。

やわらかいはっぱが出はじめたころ、子じかのマーくんは（少しだけだから、だいじょうぶ）そう思いながらそとはっぱを食べました。次の日も（少しだけだから）と思って食べていると友達のモコちゃんもしばらく考えていたけど食べてみました。次の日にターくんたちもマーくんやモコちゃんがあまりにおいしそうに食べているので食べてみました。

そんな日が続き森のしかたちが楽しみにしていた秋になりました。「そろそろオレンジ色の木のみがなるころだ。」森のしかたちは出かけていきましたが、南のしゃめんにはオレンジ色の木のみは一つもなっていませんでした。

・・・もし自分がその場においてマーくんに声をかけるとしたらなんて声をかける？なぜ約束や決まりがあるのか？
などととても考えやすく意見を出し合うことができる内容でした。



「なぜ約束やきまりがあるのだと思いますか」

- ♡いい未来をつくるため、生きていくうえで必要だから。
- ♡約束は守らなかつたら人が不快になるので、決まりは人が平等になるため。
- ♡みんながいい気持ちで過ごせるようにするため。
- ♡全員が自由に行動すると自分勝手になって苦しむ人が出てくるから。

「授業を振り返って思うこと、感じることはなんだろう。今後の自分の人生も含めて考えてみよう。」

- ♡決まりを守らないと自分が後悔すると思いました。自分も守らないことがあります。なので決まりを守らないといけないと思いました。
- ♡私は自分にも他人にも甘いので自分に厳しくなろうと思いました。私は先のことを考えずにすぐに行動してしまうから考えたいと思います。
- ♡決まりがあることで制限されることがあるけど我慢することによっていいこともあると思うから我慢することも大切だと分かった

～3年生～ 最後の道徳 「答えは変えられる」

主題<世界に目を向けること>

授業の導入でシチュエーションテストを実施。満点をとる人はいない。そのテストは南スーダンの現状を示すテスト。南スーダンの現状を知り、その現状を変えられるか、変えられないか、世界に目を向けて考えました。

～南スーダンを言い換えるなら～

- かわいそうな国 ・ 悲しい国
- 救わなければいけない国
- 人権がない国 ・ 長生きできない国
- 普通のことのできない国
- 医師が最も忙しい国
- たくさんの人が空にきえていく国



戦争



平和

～感想 南スーダンの現状を変えられるか～

<変えられる>

- アメリカとか南アメリカ共和国は変わったから。
- **発展している国が知識を教えたいして助ければ変えられる。**
- 絶対にできないことはない。 ・ 世界がこの国に注目して援助したら変えられる。
- 助けたいと思う人が増えれば変えられる。 ・ 不可能はない。
- **未来はまだ決まっていなから。 ・ 今が1番最悪な状態だから**



<変えられない>

- 戦争が終わらない限り変えられない。 ・ 苦しい人がいればいるほど変えられない。
- **戦うことしか知らないから。** ・ 時間やお金がすごくかかってしまう。
- 人間には欲があるから。 ・ 何年も続いているからこの先も続くと思う。
- 他国も自分の国でいっぱいだから。
- 助けられる側の人数と助ける側の人数の比がおかしいから。

～全体の感想～

- 毎日、何人、何千人、何万人が亡くなっていると思うと本当に心が苦しいと思った。
- 答えを変えられる人になるためには、それなりの行動力とか自信とかがないとできないと思った。
- 産まれてくる地域によって、自分の命の長さが変わると思った。
- 「変えられない」としたけど、「変わってほしい」と思った。

～3年生～ 最後の道徳 「ダイソンから中学生のあなたへの挑戦状」

主題<失敗の大切さ>

ダイソンの創業者であるジェームス・ダイソンの失敗にくじけず、自分を信じて何度も挑戦し続ける姿や考えを通して【失敗しない生き方だけが大切】なのではなく、【失敗した後、どう生きていくかが大切】ということ、格言づくりを通して考えました。



失敗とは・・・

- <失敗>とは努力した人だけにあるものだ。 ・ <失敗>は挑戦した証拠。
- <失敗>と成功は紙一重であり、成功への通過点である。
- <失敗>は人が決めるのではなく、俺が決める。
- <失敗>は怖い、だが失敗を理由に諦めてはいけない。
- 成長するときには<失敗>は必ず存在する。 ・ <失敗>と成功はとなり合わせだ。
- <失敗>した者こそ最高の成功の道が手に入る。
- <失敗>して悔しいと思うのは努力した証拠だ。
- <失敗>は人を成長させるものだ。そこから何を学び、どんなふうに活かすのかが、一番大切なことである。
- <失敗>を失敗で終わらせない人こそが成功者。

～全体の感想～

- どうしたら失敗するのは、失敗して分かるので、**失敗したということは成功に確実に近づいている**と自分は思います。
- 失敗はその時点で諦めるから失敗で、そこから何度も**挑戦すれば失敗も成功に変わると**思った。
- 自分は今まで、失敗することは恥ずかしいとか、あかんことやと思っていたけど、**失敗は成功に対する大切なこと**なのかなと、今回考えがかわりました。

保護者の皆様へ

1年間の道徳の授業が終わりました。1年を通して、子どもさんの発言や感想は教師が考えていた以上のものが多く出て、毎回驚かされました。ご家庭でも、子どもさんと道徳の授業の内容をたくさんお話しただけならと思います。来年度も道徳の授業の様子をお伝えしていきたいと考えております。